

愛知県陶磁美術館 令和6年度館外展

愛知県陶磁美術館コレクション

中国やきもの 7000 年の旅—大山崎山荘でめぐる陶磁器ヒストリー



愛知県陶磁美術館のコレクション約 80 点により、中国新石器時代から清朝にいたるまで 7000 年に及ぶ悠久の中国陶磁の歴史を概観します。神秘的な土器の世界、副葬品として用いられた多彩色の器や日常の世界を再現する建築明器^{めいき}、世界に影響を与えた青花^{せい か}や、五彩^{ごさい}をはじめとする数多くの技法などを、中国各地の窯の代表作品を通じて紹介します。約 100 年前に建てられた大山崎山荘の建築、室内の中国古代の意匠と、絢爛たる中国陶磁の共演が見どころです。

【開催要項】

展覧会名：愛知県陶磁美術館コレクション

中国やきもの 7000 年の旅—大山崎山荘でめぐる陶磁器ヒストリー

会 期：2024 年 6 月 1 日（土）～9 月 1 日（日）

休 館 日：月曜日（祝日の場合は翌火曜日）

会 場：アサヒグループ大山崎山荘美術館

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原 5-3

JR 山崎駅、または阪急大山崎駅より徒歩約 10 分

TEL:075-957-3123(総合案内)

<https://www.asahigroup-oyamazaki.com>

主 催：アサヒグループ大山崎山荘美術館

特別協力：愛知県陶磁美術館

後援(予定)：京都府、大山崎町、大山崎町教育委員会、NHK 京都放送局、京都新聞、エフエム京都

入 館 料：1,200 円

作品点数：約 80 点

担 当：アサヒグループ大山崎山荘美術館 学芸員 野崎 芙美子

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原 5-3 Tel: 075-957-2364 Fax: 075-957-3126

愛知県陶磁美術館 主任学芸員 田畑 潤

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町 234 Tel:0561-84-7474 Fax:0561-84-4932

【展示構成】

第1章：新石器時代から初期王朝時代 原始の多彩なやきもの

紀元前 5000 年の中原の仰韶文化をはじめ、紀元前 2000 年紀の 馬家窯、大汶口、良渚、龍山文化など辺縁に広がる新石器時代から初期王朝時代のバラエティに富んだ古代のやきものを紹介します。また、関連する玉器のコレクションも展示します。



紅陶尖底双耳瓶 黄河中流域 紀元前 5000 年頃



白陶鬲 黄河下流域 紀元前 2500 年頃



玉璋 紀元前 1800 年頃

第2章：戦国時代から漢時代 副葬品にみられるやきものとその思想

戦国時代の作品から、金属器を模した華麗な原始磁器を紹介します。また、死後の世界観に現世の延長と天上世界への憧れが現れた漢時代。副葬品としての明器と呼ばれる、やきものから当時の人々の暮らしや思想をたどります。



原始青磁印文尊 華南 戦国(紀元前 5 世紀頃)



緑褐釉温酒尊 華北 漢(紀元前 1 世紀頃)



緑釉樓閣 華北 後漢(紀元前 1 世紀頃)

第3章：三国時代から隋時代 施釉陶器発展の兆し

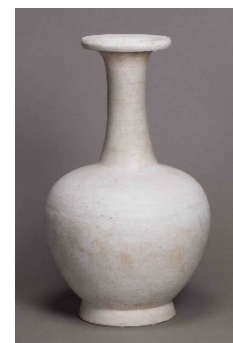
三国時代から南北朝・隋時代にかけて、中国南北の交流により技術が広範囲に渡り、新たな形態のやきものが出現しました。初期の青磁や白磁など、施釉陶器の発展の兆しに生まれた作品を紹介します。



青磁神亭壺 越州窯 西晋(3 世紀)



緑釉貼花忍冬文尊 華北 北齊～隋(6 世紀頃)



白陶長頸瓶 華北 北朝～隋(6 世紀頃)

第4章：唐時代から宋・元時代 世界に広がる中国陶磁

シルクロードにより東西の文化を吸収した華麗で荘厳な唐三彩から、中国陶磁史上、造形や釉調、文様の美しさが極まった宋・元時代のやきものについて概観します。

越州窯・耀州窯・龍泉窯の青磁、定窯の白磁、景德鎮窯の青白磁、素朴で力強い磁州窯などの作品を紹介します。



三彩駱駝 鞏義窯 唐(8世紀)



青白磁水注 景德鎮窯 北宋(11世紀頃)



青磁貼花蓮花文香炉 龍泉窯 南宋(13世紀)

第5章：明・清時代のやきもの 青花・五彩と文人趣味

世界が憧れた青花や五彩磁器には、当時の皇帝の嗜好や美意識が反映されています。景德鎮窯や漳州窯の作品を中心に、中国陶磁の美意識の推移と技術の発展をたどりま

す。日本で流行した中国文人趣味の世界も併せて紹介します。



青花芙蓉手盤 景德鎮窯 明(16世紀頃)



五彩花鳥図盤 漳州窯 明(17世紀)



黒地素三彩四季花図方瓶 景德鎮窯 清(17世紀頃)

【広報画像使用・取材申請について】

当企画展の画像使用や取材の申請は、アサヒグループ大山崎山荘美術館ウェブサイト「プレスリリース」内の広報画像・取材申請フォームからお願いいたします。追って広報担当よりご連絡いたします。

<https://www.asahigroup-oyamazaki.com/pressroom/>

※アサヒグループ大山崎山荘美術館のプレスリリースは2024年4月上旬頃発表予定

プレス用お問い合わせ

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原 5-3

アサヒグループ大山崎山荘美術館 広報担当

TEL：075-957-2364（受付時間：開館日の10:00～17:00） FAX：075-957-3126

※おかけの際は間違いのないようお願いいたします

展覧会公式サイト：<https://www.asahigroup-oyamazaki.com/exhibition/chineseceramics>

【会期中のイベント】

- ① 事業名：煎茶点前実演・解説＋トーク「中国陶磁と煎茶をたのしむ」
日時：6月8日（土）①11:00～12:30 ②15:00～16:30
講師：高取友仙窟（煎茶道賣茶流4代家元）、
田畑潤（愛知県陶磁美術館主任学芸員、煎茶道賣茶流師範 田畑 占仙窟）
会場：彩月庵
定員：各回10名
参加費：※
- ② 事業名：ギャラリートーク「中国やきもの7000年の旅」
日時：7月14日（日）①11:00～ ②15:00～（各回1時間程度）
講師：田畑潤（愛知県陶磁美術館主任学芸員）
会場：アサヒグループ大山崎山荘美術館本館および山手館展示室
参加費：無料、ただし美術館入館料は別途必要 ※事前申込不要
- ③ 事業名：二胡コンサート（仮）
会場：アサヒグループ大山崎山荘美術館本館

※イベントの詳細及びその他関連企画については、アサヒグループ大山崎山荘美術館プレスリリース（4月上旬発表予定）をご参照ください。